



令和7年7月9日(水曜日)

令和7年度九州スマート農業技術情報連絡会議

主催：九州農政局、

農研機構九州沖縄農業研究センター

スマート農業の推進について (農研機構の取組)

農研機構 本部 みどり戦略・スマート農業推進室
兼 九州沖縄農業研究センター 研究推進部

みどり戦略・スマート農業コーディネーター 奥野 成倫

NARO

令和元～5年度採択（2年間、一部1年間） スマート農業実証プロジェクト

スマート農業実証プロジェクト実施地区

◎2019年度から**全国217地区**で展開。

全国	水田作	48 (30、12、1、1、3、1)
	畑作	28 (6、7、1、4、7、3)
	露地野菜	45 (10、12、9、9、2、3)
	施設園芸	30 (8、6、3、7、4、2)
	花き	5 (1、2、-、2、-、-)
	果樹	34 (9、9、5、8、3、-)
	茶	6 (2、2、-、1、1、-)
	畜産	21 (3、5、5、2、3、3)
	合計	217 (69、55、24、34、23、12)

令和元年度採択	69地区
令和2年度採択	55地区
令和2年度採択（緊急経済対策）	24地区
令和3年度採択	34地区
令和4年度採択	23地区
令和5年度採択	12地区

北海道

水田作	4 (2、1、-、-、1、-)
畑作	7 (2、1、1、1、1、1)
露地野菜	3 (-、2、-、-、1、-)
果樹	1 (-、-、-、1、-、-)
畜産	8 (1、1、2、2、1、1)
合計	23 (5、5、3、4、4、2)

東北

青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	
水田作	8 (5、2、-、1、-、-)
畑作	2 (-、1、-、-、1、-)
露地野菜	6 (3、-、1、1、-、1)
施設園芸	3 (-、-、1、1、1、-)
花き	2 (1、1、-、-、-、-)
果樹	4 (1、1、1、1、-、-)
合計	25 (10、5、3、4、2、1)

九州・沖縄

福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	
水田作	6 (2、3、1、-、-、-)
畑作	8 (3、2、-、-、3、-)
露地野菜	7 (3、2、1、-、-、1)
施設園芸	13 (5、3、1、1、3、-)
果樹	3 (1、1、-、1、-、-)
茶	3 (1、1、-、-、1、-)
畜産	6 (1、2、1、-、1、1)
合計	46 (16、14、4、2、8、2)

北陸

新潟、富山、石川、福井	
水田作	10 (8、1、-、-、1、-)
畑作	5 (-、2、-、1、1、1)
露地野菜	4 (-、3、-、-、1、-)
施設園芸	2 (-、-、-、2、-、-)
花き	1 (-、-、-、1、-、-)
果樹	1 (-、1、-、-、-、-)
畜産	2 (-、1、1、-、-、-)
合計	25 (8、8、1、4、3、1)

関東甲信・静岡

茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野、静岡	
水田作	5 (4、1、-、-、-、-)
畑作	2 (-、1、-、-、1、-)
露地野菜	14 (2、2、4、5、-、1)
施設園芸	6 (2、2、-、2、-、-)
果樹	7 (2、2、1、2、-、-)
花き	1 (-、-、-、1、-、-)
茶	2 (1、-、-、1、-、-)
畜産	2 (1、1、-、-、-、-)
合計	39 (12、9、5、11、1、1)

中国・四国

鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知	
水田作	6 (5、1、-、-、-、-)
畑作	2 (1、-、-、-、-、1)
露地野菜	7 (2、3、1、1、-、-)
施設園芸	1 (-、-、1、-、-、-)
果樹	8 (2、2、1、1、2、-)
畜産	3 (-、-、1、-、1、1)
合計	27 (10、6、4、2、3、2)

近畿

滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	
水田作	4 (3、1、-、-、-、-)
露地野菜	3 (-、-、1、2、-、-)
果樹	7 (2、2、2、1、-、-)
茶	1 (-、1、-、-、-、-)
合計	15 (5、4、3、3、-、-)

東海

岐阜、愛知、三重	
水田作	5 (1、2、-、-、1、1)
畑作	2 (-、-、-、2、-、-)
露地野菜	1 (-、-、1、-、-、-)
施設園芸	5 (1、1、-、1、-、2)
花き	1 (-、1、-、-、-、-)
果樹	3 (1、-、-、1、1、-)
合計	17 (3、4、1、4、2、3)

※各ブロックの品目毎の（ ）内の数字は、左から令和元年度、令和2年度、令和2年度（緊急経済対策）、令和3年度、令和4年度、令和5年度の採択地区数である。（2023年4月現在）

スマート農業実証プロジェクト（令和元～5年度）で導入された技術

要素技術		など 自動運転・操舵					ドローン			水田センサ・水管理システム	遠隔操作草刈り機	アシストスーツ	など 環境制御・予測				全自動収穫機	自動選別機	個体行動監視システム	発情・分娩・異常検知システム	搾乳システム	自動給餌システム	自動哺乳システム	システム			その他
		トラクタ（自動運転）	トラクタ（自動操舵システム）	田植機（直進キープ等）	可変施肥システム	コンバイン（食味・収量センサ）	農薬散布	肥料散布	センシング				栽培環境のセンシング（ハウス）	統合環境制御（ハウス）	生育・収量の予測システム	病害虫の発生状況の予測システム								経営（経理）管理システム	栽培管理システム	流通管理システム	農業支援人材育成など 局所適時CO2施用システム、 防除兼運搬UGV、
地区数	全国	47	65	34	30	46	70	39	82	57	57	22	59	24	61	15	16	15	11	13	4	4	3	120	61	18	141
	九州	6	13	3	1	3	12	6	15	8	7	4	8	6	15	4	4	6	4	4	1	2	2	29	16	3	23
	沖縄	0	1	0	0	0	2	0	2	2	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	2

次の資料から数値を集計：農林水産技術会議「実証経営体ごとの主要な要素技術（令和元年度69地区）」「同（令和2年度55地区）」「同（令和2年度（緊急経済対策）24地区）」「同（令和3年度34地区）」「同（令和4年度23地区）」「同（令和5年度12地区）」
https://www.affrc.maff.go.jp/docs/smart_agri_pro/pdf/pamphlet/Element_Technology.pdf（2025年6月26日閲覧）

事業概要

農業の国際競争力の強化に向けては、先端技術を活用したスマート農業の社会実装を加速化し、人口減少社会を迎えて脆弱化が懸念される国内の食料生産基盤の強靱化を図る必要があります。

このため、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)は、スマート農業実証プロジェクトで得られた成果を実証未参加の産地に横展開することで、スマート農業技術の社会実装の加速化を行います。

本事業では、スマート農業技術の活用を支援するスマートサポートチームと、支援を受ける産地とが合同でコンソーシアム(実施グループ)を結成します。スマート農業実証プロジェクトでスマート農業の実証を行った経験のある者を含むスマートサポートチームは、実施グループに参画している支援を希望する産地を対象に実地指導を行います。実施グループは、その実地指導の結果を踏まえてスマート農業技術の活用支援の手引き書を作成します。

スマート農業技術導入手引き書

本事業では、普及指導員や営農指導員及び先進的な農業者が利用することを想定し、スマート農業産地の形成につながることに留意した、スマート農業技術の活用する際に使用できる手引き書(スマート農業技術導入手引き書)を作成します。この手引き書は、産地がスマート農業技術を効果的に導入・活用する際の検討に必要な営農管理・経営データ等の種類やその収集・分析方法について検討するとともに、データに基づくスマート農業技術の利活用や経営改善の進め方とその効果を体系的に整理しています。

スマート農業技術活用産地支援事業 令和4年度採択の取組（全11）（1／2）



支援を受ける産地	営農体系（品目）	実証グループ名	スマートサポートチームの代表機関	
北海道	水田作（水稻） 畑作（小麦、大豆） 露地野菜（長ねぎ、南瓜、 キャベツ、ブロッコリー） 施設野菜（トマト、メロン、 ほうれんそう）	栗山町スマート農業技術活用 検討コンソーシアム	（株）スマートリンク 北海道	援A01
北海道	畜産（自給飼料）	北海道スマート酪農推進コン ソーシアム	農研機構北海道農業 研究センター	援A02
岩手県	施設園芸（ピーマン）	岩手奥州地域データ活用型果 菜産地づくりコンソーシアム	テラスマイル（株）	援B03
群馬県	施設園芸（いちご）	群馬県昭和村いちごコンソー シアム	（株）日本能率協会 コンサルティング	援C04
千葉県	水田作（水稻）	農地均平化技術普及促進グ ループ	（株）スカイマティ クス	援C05
富山県	露地野菜（たまねぎ）	JAとなみ野データ活用型複合 経営強化コンソーシアム	テラスマイル（株）	援D06

引用：農研機構（2022年9月15日）「【別添1】スマート農業技術活用産地支援事業の公募における審査結果について」
https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/files/press20220915_naro_shien_betten01.pdf（2025年6月26日閲覧）

農研機構「スマート農業技術活用産地支援事業 支援の概要 スマート農業技術導入手引き書」
<https://www.naro.go.jp/smart-nogyo/katsuyo-sanchi-shien/tebikisho.html>（2025年6月26日閲覧）

スマート農業技術活用産地支援事業 令和4年度採択の取組（全11）（2／2）



支援を受ける産地	営農体系（品目）	実証グループ名	スマートサポートチームの代表機関	
石川県	水田作（水稻） 畑作（大麦、大豆）	ドローンデータシェアリング 活用産地コンソーシアム	石川県農林総合研究 センター	援D07
三重県	施設園芸（ミニトマト）	施設園芸生産管理支援コン ソーシアム	（大）大阪 大阪公 立大学	援E08
三重県	茶	みえスマート茶業普及振興コ ンソーシアム	テラスマイル（株）	援E09
宮崎県	畑作（サツマイモ）	農業版iCDさつまいもバージョ ン導入・活用コンソーシアム	（一財）浅間リサー チエクステンション センター	援H10
鹿児島県	露地野菜（キャベツ）	指宿露地野菜コンソーシアム	（株）日本能率協会 コンサルティング	援H11

引用：農研機構（2022年9月15日）「【別添1】スマート農業技術活用産地支援事業の公募における審査結果について」
https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/files/press20220915_naro_shien_betten01.pdf（2025年6月26日閲覧）
 農研機構「スマート農業技術活用産地支援事業 支援の概要 スマート農業技術導入手引き書」
<https://www.naro.go.jp/smart-nogyo/katsuyo-sanchi-shien/tebikisho.html>（2025年6月26日閲覧）

手引き書一覧(令和7年4月時点)

土地利用型作物

土地利用型作物におけるドローンセンシングデータの広域シェアリングを中心としたデータ活用による最適な栽培管理のための手引き

(石川県農林総合研究センター)

水田作

スマート農機を適用する際の「農家収益指標」活用のための手引き

((株) スマートリンク北海道)

水田作

ドローン測量を用いた水田における均平化技術の活用のための手引き

((株) スカイマティクス)

畑作物(かんしょ)

サツマイモ産地における人材育成や経営改善を目的とした営農タスク・スキル標準(農業版iCD)の活用のための手引き

((一財) 浅間リサーチエクステンションセンター)

露地野菜(たまねぎ)

露地野菜及び水田作におけるデータ駆動型農業による営農経営改善活動自走のための手引き

(テラスマイル株式会社)

露地野菜(キャベツ)

露地野菜栽培におけるスマート農業技術(GPSレベラー・高精度ソナー)の導入による収量・品質の安定化及び営農支援システムを活用したデータ駆動型経営改善のための手引き

((株) 日本能率協会コンサルティング)

施設園芸(ピーマン)

施設園芸産地におけるデータ分析基盤技術の活用による自律的な生産・経営改善活動のための手引き

(テラスマイル株式会社)

施設園芸(いちご)

施設園芸品目を対象としたデータ活用による栽培管理適正化と経営改善のための手引き

((株) 日本能率協会コンサルティング)

施設園芸(ミニトマト)

トマト大規模施設における生産管理支援システムの活用による労働生産性向上のための手引き

(公立大学法人大阪 大阪公立大学)

茶

茶業における農業経営データ基盤および農業経営管理システムを活用したデータ駆動型農業による営農経営改善活動自走のための手引き

(テラスマイル株式会社)

自給飼料

TMRセンターにおける農作業専用の進捗共有・記録システムの導入による自給飼料生産・供給の効率化のための手引き

(農研機構北海道農業研究センター)



※ () 内は、スマート農業実証プロジェクトに参画し、他産地へ実施指導や手引き書の作成を行った機関を示しています。

手引き書の例

スマート農業技術導入手引き書 (畑作物(サツマイモ))

サツマイモ産地における人材育成や経営改善を目的とした
営農タスク・スキル標準(農業版iCD)活用のための手引き

令和6年3月

実施グループ名: 農業版iCDさつまいもバージョン導入・活用コンソーシアム(活用支援ID: 援H10)
代表機関: 一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター

目次

はじめに	2
第1部 この手引き書の概要	4
1. この手引き書で取り上げる営農体系と品目	4
2. この手引き書で取り上げるスマート農業技術活用産地支援の項目	4
3. この手引き書で取り上げる技術	4
4. 産地の現状と取り組む目的	4
5. 期待される成果	4
6. この手引き書の活用面と留意点	4
第2部 スマート農業技術活用産地支援を成功に導くポイント	6
1. 【技術導入前コンサル型】取組	6
2. 【導入技術活用型】取組	8
第3部 スマート農業技術活用産地支援の取組内容と実施状況(ケーススタディ)	13
1. 取組内容	13
2. 【技術導入前コンサル型】取組の実績	13
3. 【導入技術活用型】取組の実績	16
4. 営農タスク・スキル標準導入によって認められた効果	23
5. エフしたポイント	23
第4部 参考資料	25
この手引き書の著作権について	37
この手引き書の問い合わせ先	37

引用: 農研機構(2024年3月)「スマート農業技術導入
手引き書(畑作物(サツマイモ))」
<https://www.naro.go.jp/smart-nogyo/katsuyo-sanchi-shien/files/H10.pdf> (2025年6月26日閲覧)

スマート農業技術活用産地支援事業 令和5年度採択の取組（全8）



支援を受ける産地	品目	実証グループ名	スマートサポートチームの代表機関	
北海道	畑作（バレイショ、小麦、大豆） 露地野菜（南瓜、ブロッコリー等）	JA新はこだてスマート営農指導グループ	ウォーターセル（株）	援A21
埼玉県	施設園芸（イチゴ）	さいたま市いちご組合による都市型スマート農業活用コンソーシアム	（株）誠和	援C22
静岡県	露地野菜（レタス、ブロッコリー）	静岡県野菜スマート商流支援コンソーシアム	（株）鈴生	援C23
三重県	水田作（水稻） 畑作（小麦）	三重県ドローンシェアリングサービス普及グループ	（株）つじ農園	援E24
兵庫県	畑作（小麦） 露地野菜（タマネギ）	淡路島型スマート防除体系の導入・実証コンソーシアム	（株）レグミン	援F25
鳥取県	水田作（水稻）	農業版iCD水稻@鳥取導入・活用コンソーシアム	（一財）浅間リサーチ エクステンションセンター	援G26
岡山県	果樹（ブドウ）	総社市データ活用型農業経営強化コンソーシアム	テラスマイル（株）	援G27
熊本県	施設園芸（イチゴ）	八代市データ活用型農業経営強化コンソーシアム	テラスマイル（株）	援H28

引用：農研機構（2023年5月24日）「【別添1】スマート農業技術活用産地支援事業の令和5年度公募における審査結果について」

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/files/press20230524_naro_betten01.pdf（2025年6月26日閲覧）

農研機構「スマート農業技術活用産地支援事業 支援の概要 令和5年度」

<https://www.naro.go.jp/smart-nogyo/katsuyo-sanchi-shien/subject/r5/index.html>（2025年6月26日閲覧）

スマート農業技術活用産地支援事業 令和6年度採択の取組（全12）



支援を受ける産地	品目	実証グループ名	スマートサポートチームの代表機関	
岩手県	畑作（小麦、大豆）	センシング技術を活用した大豆・小麦の収量向上対策支援コンソーシアム	農研機構東北農業研究センター	援B31
栃木県	施設園芸（きく）	スマートマム技術活用コンソーシアム	（株）イーエムアイ・ラボ	援C32
群馬県	施設園芸（きゅうり）	JA邑楽館林スマート農業活用コンソーシアム	（株）誠和	援C33
山梨県	果樹（ぶどう）	山梨県甲州市勝沼ぶどうコンソーシアム	（株）日本能率協会コンサルティング	援C34
静岡県	茶	静岡市茶スマート農業推進グループ	NECソリューションイノベータ（株）	援C35
京都府	水田作（稲WCS）	南丹天王スマート農業推進コンソーシアム	（株）アルケミックス	援F36
島根県	畜産（肉用牛（飼料作物、放牧））	西日本スマート放牧推進グループ	農研機構西日本農業研究センター	援G37
広島県	施設園芸（いちご）	広島県庄原夏秋いちごコンソーシアム	（株）日本能率協会コンサルティング	援G38
熊本県	畜産（肉用牛、飼料作物）	阿蘇地域草地高度活用実証支援グループ	熊本県農業研究センター草地畜産研究所	援H39
宮崎県	果樹（かんきつ類（へべす））	ひむか大規模スマート果樹園指導技術コンソーシアム	（有）新福青果	援H40
鹿児島県	茶	大隅半島製茶コンソーシアム	（株）日本能率協会コンサルティング	援H41
鹿児島県	畑作（さとうきび）	喜界町コーラルプロジェクトコンソーシアム	（大）琉球大学	援H42

引用：農研機構（2024年3月29日）「【別添1】スマート農業技術活用産地支援事業 令和6年度公募における審査結果について」

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/files/press20240329_naro_betten01.pdf（2025年6月26日閲覧）

農研機構「スマート農業技術活用産地支援事業 支援の概要 令和6年度」

<https://www.naro.go.jp/smart-nogyo/katsuyo-sanchi-shien/subject/r6/index.html>（2025年6月26日閲覧）

プレスリリース

（お知らせ）「スマート生産方式SOP(スマート農業技術導入・運用手順書)作成研究」の採択

情報公開日:2025年3月28日（金曜日）

ポイント

- 農研機構は、スマート農業技術の導入を推進するための事業「スマート生産方式SOP(スマート農業技術導入・運用手順書)作成研究」の事業実施主体となり、4月以降に研究を開始します。
- 本事業は、外部の有識者等による厳正な審査を踏まえ、農林水産省が設置した運営管理委員会において採択課題が決定されました。

概要

「スマート生産方式SOP(スマート農業技術導入・運用手順書)作成研究」は、スマート農業技術の導入を推進するため、主要な営農類型や技術体系ごとに、スマート農業技術の導入効果を着実に発揮させる栽培体系等(飼養管理体系を含む。)やサービス事業者等を介した技術の運用方法を検証し、スマート農業技術導入・運用手順書を作成する事業です。

本事業では、農林水産省予算により農研機構が全体の事業実施主体となり、4月以降に研究を開始します。

本事業の公募期間中(令和6年12月25日(水曜日)～令和7年2月14日(金曜日))に応募があった10課題について、外部の有識者等による厳正な審査を踏まえ、農林水産省が設置した運営管理委員会において、別添1のとおり採択課題として決定されました。

なお、本事業については、第2回公募を行う予定です。詳細は決まり次第、農研機構のウェブサイトに掲載いたします。

引用：農研機構（2025年3月28日）「プレスリリース(お知らせ)「スマート生産方式SOP(スマート農業技術導入・運用手順書)作成研究」の採択」
https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/naro/168549.html（2025年6月26日閲覧）

スマート生産方式SOP（スマート農業技術導入・運用手順書）作成研究 令和7年度採択課題（第1回公募10課題、第2回公募2課題）

検証地	営農類型	実証グループ名	代表機関
石川県	水田作	水稻（中山間地域）における高精度可変施肥技術等を核とした超省力的・低コスト生産体系の導入による労働生産性の向上及び能登農業の創作的復興に関する研究	石川県農林総合研究センター
北海道	畑作	小麦、大豆栽培の輪作体系導入における汎用型画像処理、排出権取引に向けた作業履歴収集及びロボット農機導入・地域シェアリング体制構築による農家収益向上プロジェクト	（株）スマートリンク北海道
山形県 福岡県	畑作	水田有機大豆作における機械除草適期診断アプリの導入による省力除草と安定生産技術の確立	農研機構東北農業研究センター
北海道 茨城県	露地野菜 花き作	キャベツにおける自動収穫機の導入と最適栽培管理の統合による労働生産性の向上	農研機構北海道農業研究センター
三重県	施設野菜 花き作	シイタケ（菌床栽培）におけるIoT・AI自動環境制御およびスマートグラス技術の導入による労働生産性の向上と品質安定化	ランドブレイン（株）
三重県	施設野菜 花き作	欧州向け房取りミニトマト全自動収穫ロボットの日本市場における労働生産性の向上	（株）デンソー
香川県 熊本県	施設野菜 花き作	イチゴにおける自動選別パック詰めロボットの導入による出荷調製作業の効率向上	農研機構西日本農業研究センター
青森県 岩手県	果樹 茶作	りんご園における自動運転スピードスプレーヤ導入による労働生産性の向上	京都大学
静岡県 三重県 鹿児島県	果樹 茶作	蒸気を利用した新栽培管理技術により労働生産性向上を目指す有機茶スマート栽培管理システムのSOP作成研究	カワサキ機工（株）
青森県 千葉県 熊本県等	畜産 酪農	IoTとBODバイオセンサを活用した省力・省エネ型のスマート畜産排水処理	農研機構畜産研究部門
長野県 沖縄県	施設野菜 花き作	イチゴにおける周年栽培スマートグリーンハウスシステムの導入による効率的生産体系の確立	ジャパンプレミアムベジタブル（株）
北海道	畜産 酪農	デジタルツイン技術を活用したウェアラブルマニュアルによる搾乳作業の軽労化デイリーナビがもたらす労働生産性の向上	北海道大学

引用：農研機構（2025年3月28日）「【別添1】「スマート生産方式SOP作成研究」の審査結果」
https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/files/press20250328_naro_betten01.pdf（2025年6月26日閲覧）
 農研機構（2025年6月30日）「【別添1】「スマート生産方式SOP作成研究」第2回公募の審査結果」
https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/files/press20250630_naro_betten01.pdf（2025年7月1日閲覧）